

ニュース・レター

No. 37 2015年2月

目次

理事長挨拶	1頁
2014年度総会議事録	2頁
2014年度総会・研究会報告	7頁
2013年度日本選挙学会賞	14頁
『選挙研究』目次	15頁
各委員会からのお知らせ	17頁
理事会だより	20頁
理事会議事録	22頁
事務局だより	31頁

選挙学会の発展に向けて

岩渕 美克

2014年6月より理事長に就任いたしました日本大学の岩渕美克です。就任時の挨拶でも触れさせていただきましたが、今まで歴代の理事長のご尽力により、日本選挙学会もかなり学会としての機能を十分に果たすことのできる体制が整ってきたと思います。その間、さまざまなご苦勞を理事、監事の先生方におかけしたにもかかわらず整備されてきたのは、先生方の献身的なご助力の賜物と思っております。

しかしながら一方で、会員数はこのところ500名前後で安定してしまっています。少子化や大学院進学者の頭打ちなどの厳しい環境にある中で、安定した会員数を維持できているのは恥ずかしいことではないと思いますが、学会のさらなる発展のためには研究内容や会員の先生方のご研究などを社会に向けて発信していく必要を感じています。前理事長の平野先生も選挙研究、選挙学会を取り巻く環境の厳しさについては触れられておりましたが、そうした環境下において何ができるのかを模索していきたいと考えています。幸いにして私の任期内には、14年末の総選挙、15年春の統一地方選、16年夏の参院選と大型選挙が毎年行われる僥倖に恵まれました。こうした機会を生かして、学会として何らかの形で情報発信を続けていきたいと思っております。残念ながら日本選挙学会に関する社会的認知は必ずしも高いとは言えない状況にあるかもしれません。もしそうであるとすれば、積極的に情報発信をすることで、そうした状況を変革しなくてははいけません。

まずは会員の先生方が日本選挙学会の一員としてさまざまな情報発信をしていただくこと、そうしたチャンネルが乏しい会員の先生にはチャンネルを提供できる手だても考えなくてはならないでしょう。先生方お一人お一人に学会の状況、情報発信の重要性をお考えいただきたいと思います。もちろん私もそのためには率先して学会のプレゼンスを高めるための努力は惜しまない覚悟しております。どうかよろしくお願い申し上げます。

(いわぶち よしかづ・日本大学教授)

[目次へ](#)

2014年度総会議事録

2014年度の総会は、2014年5月17日（土）に早稲田大学（大会運営委員長＝河野勝理事）にて開催されました。

日 時：2014年5月17日（土） 17時45分～18時30分
場 所：早稲田大学 早稲田キャンパス7号館220号室

議題

1. 理事長挨拶

平野浩理事長から開会の挨拶があった。

2. 開催校挨拶

河野勝 2013年度大会委員長から挨拶、および同大会の進行状況に関する説明があった。

3. 各委員会活動報告

■ 企画委員会

森裕城 2014年度大会企画委員長より、同大会企画趣旨についての説明があった。

■ 年報編集委員会

小西徳應年報編集委員長（第29号担当）より、『選挙研究』第29巻2号の刊行について報告があった。

谷口尚子年報編集委員長（第30号担当）より、『選挙研究』第30巻1・2号の内容および

び編集状況について報告があった。

■ 査読委員会

山田真裕査読委員長より、同委員会活動状況に関する報告があった。

■ 学会賞選考委員会

池田謙一学会賞選考委員長より、2013 年度学会賞各賞の選考結果について報告があった。

■ 電子情報化特別委員会

今井亮佑電子情報化特別委員長より、論文投稿システムに関する報告があった。

■ 国際化特別委員会

日野愛郎国際交流委員長より、2013 年度国際共同研究奨励費および海外学会報告奨励費の選考結果について報告があった。

4. 2013 年度決算・監査報告

名取良太事務局長より 2013 年度の決算報告、岡田信弘・安野智子両監事より監査報告がなされた。同決算を承認した。

5. 2014 年度予算案について

名取事務局長から 2014 年度予算案について説明がなされた。同予算案を承認した。

6. 2015 年度総会・研究会の開催について（熊本県）

今井 2015 年度大会委員長から、同大会の日程（2015 年 5 月 16 日・17 日予定）に関する報告があった。

7. 2014-15 年度理事・監事候補について

浅野和生選挙管理委員長・名取事務局長より、2014 - 15 年度理事・監事候補（下表）について説明があった。全員について承認した。

【公選理事】

浅野 和生	阿部 頼孝	池谷 知明	今井 亮佑	岩渕 美克
奥 健太郎	河崎 健	小西 徳應	鈴木 基史	建林 正彦
玉井 清	堤 英敬	日野 愛郎	前田 幸男	待鳥 聡史
三船 毅	森 裕城	森脇 俊雅	山田 真裕	吉野 篤

【推薦理事】

品田 裕	谷口 尚子	中井 孔人	名取 良太	和田 淳一郎
------	-------	-------	-------	--------

【監事】

竹下 俊郎	安野 智子
-------	-------

8. 次期理事長挨拶

岩淵美克新理事長より挨拶があった。

9. 各委員会委員長・事務局長紹介

岩淵理事長より、各委員会新委員長・新事務局長の紹介がなされた。

理事長 岩淵 美克

企画委員長（2015年度大会担当） 品田 裕

企画委員長（2016年度大会担当） 浅野 和生

年報編集委員長（2015年度担当） 河崎 健

年報編集委員長（2016年度担当） 前田 幸男

選挙管理委員長 三船 毅

査読委員長（2014年度） 和田 淳一郎

国際化委員長 日野 愛郎

事務局長 名取 良太（2014年10月まで）

岩崎 正洋（2014年10月から）

10. その他

名取事務局長より、最近の会員数について報告があった。

以 上

2013年度 決算報告（案）

収 入		支 出	
項目	金額	項目	金額
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	7,819,922	総会・研究会費	500,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	1,160,920
会費等（含、バックナンバー 販売）	3,713,910	事務委託費	783,653
年報等売上金	0	通信費	5,830
利子	836	ウェブサイト作成・開発費	1,356,204
委員会活動費返却	100,000	学生アルバイト費	0
		謝金	15,000
		海外交流費	500,000
		学会賞賞金	150,000
		印刷費	3,314,515
		文具費	2,583
		雑費	20,830
		次年度への繰越金	5,225,133
合 計	13,034,668	合 計	13,034,668

年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,255,033	次年度への繰越金	10,256,663
利息	1,630		
合 計	10,256,663	合 計	10,256,663

2014 年度 予算案

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	5,225,133	総会・研究会費	500,000
寄付（櫻田会）	1,400,000	委員会・事務局活動費	950,000
会費等（含、バックナンバー販売）	3,700,000	事務委託費	50,000
利子	1,000	通信費	200,000
委員会活動費返却分	500,000	ウェブサイト作成・開発費	200,000
事務委託費過払い金	44,000	学生アルバイト費	10,000
		謝金	20,000
		海外交流費	600,000
		学会賞賞金	150,000
		印刷費	3,100,000
		文具費	50,000
		雑費	20,000
		次年度への繰越金	5,020,133
合 計	10,870,133	合 計	10,870,133

年報発行準備金

収 入		支 出	
	(円)		(円)
前年度からの繰越金	10,256,663	次年度への繰越金	10,258,163
受取利息	1,500		
合 計	10,258,163	合 計	10,258,163

[目次へ](#)

2014 年度総会・研究会報告

2014 年度日本選挙学会総会ならびに研究会は、2014 年 5 月 17 日（土）・18 日（日）に早稲田大学で開催されました。

第 1 日 5 月 18 日（土）

◆分科会 A・B・C（10:00～12:00）

【分科会 A（社会心理部会）：政治意識・投票行動研究の新展開】

◇司会者

今井 亮佑（首都大学東京）

◇報告者

稲増 一憲（関西学院大学）：「分位点回帰を用いたメディア接触効果の再検討」

三浦 麻子（関西学院大学）・楠見 孝（京都大学）：「批判的思考態度・リスクに対する態度と投票行動—2012 年衆議院選挙と 2013 年参議院選挙の Swing vote 分析—」

三輪 洋文（東京大学）：「保革自己イメージの意味づけに関する有権者の不均質性」

◇討論者

谷口 尚子（東京工業大学）・今井 亮佑（首都大学東京）

【分科会 B（法律・制度部会）：選挙管理の実務・法律学・政治学】

◇司会者

森 正（愛知学院大学）

◇報告者

大西 裕（神戸大学）：「選挙管理委員会の構成と積極的投票権保障—全国市区町村選挙管理委員会事務局調査より」

湯浅 壱道（情報セキュリティ大学院大学）：「インターネット選挙運動と公職選挙法」

小島 勇人（川崎市選挙管理アドバイザー）：「選挙の管理事務執行における留意点等について」

◇討論者

只野 雅人（一橋大学）・福元 健太郎（学習院大学）

【分科会 C (アジア部会) : Electoral Politics in Taiwan: Institutional factors and Voting Behaviors】

◇司会者

飯田 健 (同志社大学)

◇報告者

Lin, Chao-Chi (国立政治大学)・Sheng, Shing-Yuan (国立政治大学)

“Electoral Incentives and Legislative Behavior: Change and Continuity in Japan and Taiwan”

Su-Feng Cheng (国立政治大学)・Tsai, Chia-hung (国立政治大学)・Yu, Ching-Hsin (国立政治大学)

“Explaining Presidential Popularity and Accountability: A Case Study of Taiwan, 2011-2013”

Eric Chen-Hua Yu (国立政治大学)

“Issue Ownership and Campaign Advertising in Taiwan”

◇討論者

梅田 道生 (愛媛大学)

◆理事会 (12:05~12:55)

◆分科会 D・E・F (13:00~15:00)

【分科会 D (データベース部会) : 政治関連データの収集および公開に関する現状と課題】

◇司会者

境家史郎 (東京大学)

◇報告者

山田 真裕 (関西学院大学) : 「有権者調査の現状と課題」

品田 裕 (神戸大学) : 「非サーベイ系データベースの作成・利用・公開について」

藤原 翔 (東京大学) : 「SSJ データアーカイブによる政治関連データ公開の現状と課題について」

◇討論者

上神貴佳 (高知大学)

◆分科会 D・E・F (13:00~15:00)

【分科会 D (地方部会) : 組織票の行方】

◇司会者

品田 裕 (神戸大学)

◇報告者

田中 智和 (関西大学) : 「本当に小沢一郎は選挙に強いのか？」

久保慶明 (筑波大学) : 「政治過程における利益団体の動向」

山口希望 (法政大学) : 「連合組織の選挙対応とその変容 : 岡山県の事例を中心に」

◇討論者

浅野一弘 (札幌大学)・森裕城 (同志社大学)

【分科会 E (比較部会) : 選挙研究における民族と地域】

◇司会者

日野 愛郎 (早稲田大学)

◇報告者

石生 義人 (国際基督教大学) : 「オバマ大統領の外国生まれ俗説を信じるアメリカ人とその決定要因 : 2012 年全米サーベイデータの分析」

松林 哲也 (大阪大学大学院)・Branton, Regina (University of North Texas)・Martinez-Ebers, Valerie (University of North Texas)・

Carey, Tony (University of North Texas)

“Social Protest and Policy Attitudes: The Case of the 2006 Immigrant Rallies”

金 東煥 (立命館大学) : 「韓国における野党間選挙協力に関する研究—2012 年国会議員総選挙を事例に一—」

◇討論者

浅羽 祐樹 (新潟県立大学)・村上 剛 (立命館大学)

【分科会 F (地方部会) : 地方分権改革の政治過程】

◇司会者

谷口 尚子 (東京工業大学)

◇報告者

浦上 哲朗 (総務省) : 「人口減少社会における地方分権改革のあり方」

城戸 英樹 (奈良県立大学) : 「地方分権改革における政党の役割」

梶原 晶 (神戸大学) : 「国会議員の政策選好としての地方分権改革」

◇討論者

砂原 庸介（大阪大学）・金戸 伸幸（岩手県庁）

◆共通論題：自民党政治における連続と変化（15:15～17:45）

◇司会者

河村 和徳（東北大学）

◇報告者

竹中 佳彦（筑波大学）：「利益表出におけるイデオロギ——選挙・圧力団体・マスメディア——」

建林 正彦（京都大学）：「自民党議員の政策指向に見る連続と変化」

高安 健将（成蹊大学）：「自民党の組織構造と首相の権力」

◇討論者

森 裕城（同志社大学）

◆総会（17:45～18:30）

◆懇親会（19:00～）

第2日 5月19日(日)

◆分科会 G・H・I (10:00~12:00)

【分科会 G (数理部会) : 数理的選挙研究の先端】

◇司会者

尾野 嘉邦 (東北大学)

◇報告者

中村 悦大 (愛媛大学) : 「真理子の政党支持 —合理的化された「そのつど支持」—」

福元 健太郎 (学習院大学)・Moore, Will H. (Florida State University)・Beger, Andreas (Duke University)

“Event Count Time Series Models: A Bayesian State Space Investigation”

◇討論者

鈴木 基史 (京都大学)

【分科会 H (歴史部会) : 戦前日本の「挙国一致」と選挙—非常時局の論理と実態】

◇司会者

下重直樹 (国立公文書館)

◇報告者

官田 光史 (国立公文書館) : 「仮定としての憲法改正—補充選挙停止法に関する考察—」

霜村 光寿 (日本大学) : 「岡田内閣期の選挙粛正運動」

中西 啓太 (東京大学) : 「明治期地方行政における選挙運営・制度」

◇討論者

山室建徳 (帝京大学)

【分科会 I (議会部会) : 日本の国会政治の変化と連続】

◇司会者

伊藤光利 (関西大学)

◇報告者

矢内勇生 (早稲田大学、会員)・Thies, Michael F. (非会員) : 「分割議会における政権運営」

川村一義 (山形大学) : 「政党制の変容と国会」

根元邦朗 (早稲田大学)

“Lawmaking in Japan’s House of Councilors”

◇討論者

竹中治堅（政策研究大学院大学）・鈴木創（筑波大学）

◆理事会（12:05～12:55）

◆ポスターセッション（13:00～15:00）

【選挙研究のフロンティア】

田中 智和（上宮高等学校）：「政党支持と無党派層の分類を再検討する」

横山 智哉（一橋大学大学院）・稲葉 哲郎（一橋大学）：「政治的会話が政治的知識を高める二過程モデル」

小島 真一（神戸大学）：「党内集団の存続メカニズム：だれが派閥を生きながらえさせるのか？」

根本 俊男（文教大学）・久保田 敬介（文教大学）：「人口・有権者数・投票者数の差がもたらす一票の格差への影響」

西川 美砂（ポール州立大学）・Steven Hall（ポール州立大学）

“Policy Risk and Investment: Examining the Impact of Ruling Party Duration and Political Institutions”

細貝 亮（早稲田大学）：「選挙キャンペーンにおける有権者のインターネット情報接触」

藤村 直史（神戸大学）・久保 浩樹（ライス大学）：「利益誘導か政策争点化か？候補者間の政策的ポジショニングが議員行動に与える影響」

尹 月（東京大学大学院）：「民主主義について語るときに中国網民の語ること」

中西 正紀（フリーランス）：「東京特別区議会議員選挙の分析によるSNTV大選挙区制度の特性研究」

小林 哲郎（国立情報学研究所）・片桐 梓（スタンフォード大学）：「日中領土問題と首相支持：サーベイ実験による旗下集結効果の検討」

堀田 敬介（文教大学）：「フロンティア法による区割の高速列举と索引化」

村瀬 洋一（立教大学）：「東日本大震災後の政治意識と社会ネットワーク —仙台仙北意識調査の計量分析—」

秦 正樹（神戸大学大学院）：「投票参加に関する世代間格差：政治関心の質的側面に着目して」

岸本 一男（筑波大学）：「原理党存在下での2次元平面上の3政党のナッシュ均衡解について」

久保 慶明（琉球大学）：「大都市圏における利益団体の動向—2007年調査と2012年調査の比較分析」

和田 淳一郎（横浜市立大学）：「図説：一票の平等」

上ノ原 秀晃（大阪商業大学）：「2013年参議院選挙とソーシャルメディア—候補者はネットをどう活用したか」

◆分科会 J(15:00~17:00)

【分科会 J (書評セッション) : 民主党研究における継続と発展 上神貴佳・堤英敬編『民主党の組織と政策』の書評】

◇司会者

西澤 由隆 (同志社大学)

◇報告者

堤英敬 (香川大学) : 「編著者として」

◇討論者

成廣孝 (岡山大学)・小宮京 (桃山学院大学)・平野浩 (学習院大学)

2013年度日本選挙学会賞

日本選挙学会賞は、会員相互の研究交流の促進と広い意味での選挙研究の発展を目的として2009年度に創設されました。学会賞には、研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする「優秀ポスター」、研究会における会員の優れた論文報告を対象とする「優秀報告」、『選挙研究』に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする「優秀論文」、の3つの賞が設けられています。

2013年度の受賞者は次のとおりです。

【優秀論文】

福元 健太郎（学習院大学）・中川 馨（元学習院大学法学部学生）
「得票の継承に対する世襲の効果：政党投票・候補者投票との比較」

【優秀報告】

古賀 光生（二松学舎大学）
「新自由主義から福祉排外主義へ：西欧右翼ポピュリストの戦略転換」
新井 誠（広島大学）
「参議院議員選挙区選出選挙の『一票の較差』をめぐる最高裁大法廷
違憲状態判決について」

【優秀ポスター】

横山 智哉（一橋大学大学院）
「政治的会話が政治参加に及ぼす効果：政治的関与の媒介効果に注目して」
谷口 尚子（東京工業大学）・クリス・ウィンクラー（ドイツ日本研究所）
「国際比較・時系列比較可能な政策コーディング法とその応用」

講評

今回の受賞作は、優秀論文は『選挙研究』29巻に掲載された独立論文の中から、優秀報告については2013年度に京都大学で開催された研究大会で発表された37報告、優秀ポスターは同じく11報告の中から、それぞれ選ばれた。優秀論文は、世襲候補者の有利さが永らく議論の対象でありながら計量的研究が過少である点に注目し、政党投票、候補者投票という比較対象を設けた集計データから検討を進めたことを評価した。優秀報告2点のうち、古賀報告は、分析の主要対象国以上にまで広く適用可能な枠組みを提示するなど、意欲的な労作であった。新井報告は、最高裁大法廷判決の議論の方向を整理し、体系的な批判を加えていた。優秀ポスター2点のうち、横山ポスターは素朴なアイデアを研究に直結させて実証的で有効なデータ分析を行った点で評価される。谷口・ウィンクラーのポスターは、国際比較研究の文脈の中で貴重な日本データの作成であり、プレゼンテーションも明確であった。全体として、学会時の報告、ポスターの内容が多岐にわたる中で、法律と比較政治の分野から学会賞が出たことを喜び、日本選挙学会の学際性と総合性の発展を願ってやまない。そして、学会発表の活発さを喜びつつも、発表を『選挙研究』への投稿と結びつけていかれることをより奨励したい。

（2013年度学会賞選考委員長 池田謙一）

[目次へ](#)

『選挙研究』 目次

第 30 卷 1 号

はじめに	谷口尚子
<特集 実験政治学>	
政治学における実験研究：概要と展望	谷口尚子
実験室実験によるM+1ルールの検証	黒阪健吾・肥前洋一・芦野琴美
視線追跡で明らかにする調査回答過程： 政党支持質問と価値観質問における順序効果	日野愛郎・山崎 新・遠藤晶久
ミニ・パブリックスに映し出される集合的意思の代表制と合理性： Deliberative Poll 実験を踏まえて	坂野達郎
Coalition Formation in a Weighted Voting Experiment	Naoki WATANEBE
反論提示による態度変化：熟議の政治的メカニズム	三村憲弘・山崎 新
政治学における「科学的アプローチ」観と実験的手法： 認知神経科学における研究蓄積過程を手掛かりに	境家史郎
<特集 独立論文>	
How Does Age Affect Perception of Parties' Ideological Locations? Masahisa ENDO and Willy JOU	
中東欧新興民主主義国の投票規定要因：有権者個票データによる分析	中井 遼
明治期小選挙区制における選挙区割りと選挙人口： 明治22年衆議院議員選挙法未成案をめぐって	末木孝典
<特集 学会賞受賞論文>	
新自由主義から福祉排外主義へ： 西欧の右翼ポピュリスト政党における政策転換	古賀光生
<書 評>	
R, バットナム編 猪口孝訳『流動化する民主主義』	荒井祐介
田中愛治・日野愛郎編著『世論調査の新しい地平—CASI方式世論調査』	松田映二
西田亮介著『ネット選挙—解禁がもたらす日本社会の変容』	
清原聖子・前嶋和弘編著『ネット選挙が変える政治と社会 —日米韓に見る新たな「公共圏」の姿』	上ノ原秀晃
白鳥浩編著『統一地方選挙の政治学 2011年東日本大震災と 地域政党の挑戦』	上神貴佳
善教将大著『日本における政治への信頼と不信』	岡田陽介
白崎護著『メディアとネットワークから見た日本人の投票意識 —社会学モデルの復権』	安野智子

第 30 卷 2 号

はじめに	谷口尚子
<特集 近年の国政選挙と政党・政治家・有権者の変容> 保革イデオロギーの影響力低下と年齢	竹中佳彦
政権交代と国会議員の政策選択 —2012年選挙における自民党議員の政策選好—	建林正彦
自民党の組織構造と首相の権力	高安健将
批判的思考態度・リスクに対する態度と投票行動 —2012年衆議院選挙と2013年参議院選挙のSwing vote分析—	三浦麻子・楠見 孝
Bicameralism vs. Parliamentarism: Lessons from Japan's Twisted Diet	Michael F. THIES and Yuki YANAI
インターネット選挙運動と公職選挙法	湯浅壘道
国会議員の政策選好としての地方分権改革	梶原 晶
参議院議員通常選挙データベースの開発と利用	名取良太・福元健太郎・岸本一男・ 辻 陽・堤 英敬・堀内勇作
2013年参議院選挙におけるソーシャルメディア —候補者たちは何を「つぶやいたの」のか—	上ノ原秀晃
<書評セッション> 上神貴佳・堤英敬編『民主党の組織と政策』	堤 英敬・成廣 孝・小宮 京・平野 浩
<資料 最近の選挙結果> 最近の選挙結果	三船 毅
<書 評> 御厨貴・牧原出・佐藤信著『政権交代を超えて—政治改革の20年—』	上川龍之進
飯尾潤編『政権交代と政党政治—歴史のなかの日本政治6』	河田潤一
小林良彰・岡田陽介・鷲田任邦・金兌希著『代議制民主主義の比較研究 —日米韓3ヶ国における民主主義の実証分析』	宇佐美誠
坂井豊貴著『社会的選択理論への招待—投票と多数決の科学』	三船 毅
荒井紀一郎著『参加のメカニズム』	渡辺将仁
平林紀子著『マーケティング・デモクラシー —世論調査と向き合う現代米国政治の戦略技術』	稲増一憲
樋口耕一著『社会調査のための計量テキスト分析 —内容分析の継承と発展を目指して』	

[目次へ](#)

各委員会からのお知らせ

【企画委員会から】

2015 年度の日本選挙学会の総会・研究会は、2015 年 5 月 16 日（土）・17 日（日）に熊本県熊本市・崇城大学ホール（大会運営委員長・今井亮佑理事）で開催されます。研究会では、10 の分科会，すなわち，法律・制度部会「政治参加を支える選挙管理」、歴史部会「太平洋戦争前後の地方選挙」、方法論部会「『熟慮』型世論調査の可能性：実験による検証」、地方部会「地方政治分析への新たなアプローチ」、比較部会「政党論の比較政治」、社会心理部会「民主主義を支える有権者の能力」、制度部会「政治制度と選挙過程：政治制度と代表制民主主義」、政策部会「選挙競争と政党・政治家」、社会心理部会「政治的社会化の諸相」、比較部会“The Changing Dynamics of Taiwanese Democracy”が企画されています。加えて、熊本県知事である蒲島郁夫会員による特別講演などが予定されています。また例年通り、2 日目の午後にはポスターセッション「選挙研究のフロンティア」が行われます。

1 日目に開催される共通論題のテーマは「首相の分析」です。選挙制度改革から 20 年、強い立場を謳歌する首相に注目し、有権者の政治意識，官邸権力，党内統治などさまざまな観点から，首相権力の多面的な検証が行われる予定です。また 1 日目に予定されている特別講演では，蒲島会員から政治学研究者と政治家の双方を経験されたお立場からお話を頂戴します（なお 2 日目にも特別講演を企画中です）。いずれもふるってご参加をいただければと存じます。

プログラムの詳細は，近日中に学会のウェブサイトで公開の予定ですので，会員各位にはご確認いただければ幸いです。また，今後のスケジュールは，以下のとおりとなっております。

- 2 月 16～28 日：報告概要アップロード期間
- 3 月 3 日：報告概要一般公開開始
- 4 月 16～30 日：報告論文アップロード期間
- 5 月 1 日：報告論文ダウンロード開始（会員限定）
- 8 月 19 日：報告論文アーカイブ移行

それでは，会員の皆様と熊本でお会いすることを楽しみにしております。

（2015 年度大会企画委員長 品田 裕）

【年報編集委員会から】

2014年6月刊行の『選挙研究』第30巻第1号は、特集テーマ「実験政治学」の下、初めて論文を公募しました。その公募論文2本を含む7本の論文で、日本の政治学の学術誌で初めて実験研究を包括的に紹介しました。さらに、独立公募論文3本、学会賞受賞論文1本を掲載しています。また12月刊行の第30巻第2号は、「近年の国政選挙と政党・政治家・有権者の変容」という特集を組み、2014年度研究会の報告論文を中心に掲載しました。研究会を盛り上げた書評セッションの概要も紹介しています。論文を投稿・寄稿して下さいの皆様、編集委員会・査読委員会・企画委員会・事務局の皆様、そして木鐸社の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

(年報第30巻担当編集委員長 谷口尚子)

『選挙研究』第31巻の年報編集委員会は現在、第1号の企画および書評の選考を進めています。現段階では、第31巻第1号で「諸外国の選挙制度改革をめぐる議論（ヨーロッパ編）（仮）」と「2013年参議院選挙の分析（仮）」、第2号で「諸外国の選挙制度改革をめぐる議論（アジア編）（仮）」の特集を組む予定です。なお刊行予定は、第31巻第1号は2015年6月、第2号は2015年12月を目指しております。原則、2015年3月までに査読を通過した論文は第1号に、同年9月までに通過した論文は第2号に掲載される予定です。

最近、会員の方々からの投稿がやや減少気味です。広く選挙に関する学術的な研究であれば、どのようなものでも歓迎いたします。ぜひ奮って投稿をして下さるよう、お願い申し上げます。

(年報第31巻担当編集委員長 河崎 健)

※※※論文投稿と送付先※※※

1. 投稿の申し込み：

投稿は随時受け付けております。論文を投稿できるのは、投稿時点において年会費を完納している日本選挙学会の正会員です。論文を投稿するにあたっては、学会ウェブ上のMy JAESで会費納入状況を確認して下さい。なお、会費納入状況は月末締めで更新されますことにご留意下さい。投稿の詳細につきましては、学会ウェブの執筆要領・論文投稿規程 (<http://www.jaesnet.org/download/rules/JJES20110928.pdf>) をご確認ください。

2. 投稿原稿の送付先：

投稿原稿はPDFで editor@jaesnet.org に添付ファイルとして送信ください。投稿資格、様式などを確認のうえ、年報編集委員会より投稿受理の連絡を投稿者にするとともに、査読委員会に投稿論文を送付します。投稿後、時間が経過しても（2週間程度）原稿受理の連絡がない場合、改めて連絡をいただければ幸いです。なお、投稿の際には、

- ①タイトル
 - ②執筆者名
 - ③所属・職名
 - ④連絡先住所・電話番号・FAX番号・e-mailアドレス
- を記載した添付ファイルも忘れず送信ください。

【査読委員会から】

いよいよ論文投稿システムがスタートしました。海外 Journal では標準的なネット上からの投稿ですが、MY JAES の論文投稿欄の Jaes 論文投稿から投稿していただくことになります。MY JAES ページ情報にある MY JAES 操作マニュアル内の「Jaes 論文投稿システムマニュアル」などもご参照の上、ふるって投稿いただけたらと存じます。

委員会は、特集号対応を行った昨年度から、例年通りの平常運転に戻り、年4回開催です。すでに第1回を10月に、第2回を12月に開催し、第3回を3月、第4回を5月に予定しております。

昨年度の投稿が盛況を見せたせいか、今年度は若干閑古鳥が鳴いております。就職はもちろん、昇任、研究費獲得においても、査読論文とそれ以外の論文は明確に区別される時代になってきました。査読委員会は、世間からの負託に応えるべく、掲載論文の質の向上、学术交流の促進とともに、なおいっそうの効率的な運営を考えていきたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましても、投稿、審査を含め、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(2014 年度査読委員長 和田淳一郎)

【国際交流特別委員会から】

日本選挙学会では 2013 年度より、会員と外国の研究教育機関に所属する研究者の間の国際共同研究を促進するために国際共同研究奨励費を、若手会員による海外学会における報告を促進するために、本学会に海外学会報告奨励費を設けました。

2013 年度の奨励対象者は以下の会員です。

なお奨励費受領者には、その成果を、日本選挙学会の研究会、『選挙研究』、または海外の学術誌で発表することが義務付けられています。

【国際共同研究奨励費】

福元健太郎会員（学習院大学）

研究課題：「Event Count Time Series Models: A Bayesian State Space Investigation」

山田恭平会員（国際大学）

研究課題：「Estimating the Effect of Political Boundaries on Economic

Development with Remote Sensing Data」

【海外学会報告奨励費】

第一次募集： 応募者なし

第二次募集： 遠藤晶久会員（早稲田大学）

報告学会：Southern Political Science Association

報告論題：「The Limited Role of Campaign Mobilization in Japanese Elections:

A Survey-Mode Comparison」

(国際交流特別委員長 日野愛郎)

理事会だより

【学会賞について】

2014年12月6日に開催された2014年度第3回理事会において、以下の「2015年度日本選挙学会賞要綱」が承認されました。

2015年度日本選挙学会賞要綱

日本選挙学会事務局

(目的)

1. 日本選挙学会は、会員の優れた研究業績を顕彰するために、本学会に学会賞を設ける。

(学会賞の種類)

2. 学会賞として、以下を設ける。

- 1) 優秀ポスター

2015年度研究会のポスターセッションにおける会員の優れた研究発表を対象とする。

- 2) 優秀報告

2015年度研究会における会員の優れた論文報告を対象とする。

- 3) 優秀論文

2015年度に発行された、日本選挙学会年報『選挙研究』(第31巻第1号・第2号)に掲載された会員の優れた投稿論文を対象とする。

(選考委員会)

3. 学会賞の選考のため、選考委員会を組織する。選考委員会の構成は、以下の通りとする。

- 1) 選考委員会は、理事長の推薦、理事会の承認を得た選考委員長及び選考副委員長、当該年度の企画委員長、編集委員長、査読委員長によって構成される。

- 2) 選考委員会は、ポスター小委員会、報告小委員会、論文小委員会を組織し、それぞれ小委員会委員を会員に委嘱する。ただし、小委員会委員は公表しない。

- 3の2. 選考委員会および各小委員会の任期は、各委員会の組織された日から学会賞の表彰される当該年次総会までとする。ただし、再任を妨げない。

(選考手続き)

4. 学会賞は以下の手続きによって選考する。

- 1) 各小委員会は、対象となる研究業績について第一次選考を行い、第二次選考に残る研究業績を選考委員会に提案する。

- 2) 選考委員会は、各小委員会の提案に基づき、第二次選考を最終選考とし、受賞候補を決定する。

- 3) 選考委員会は、定められた期日までに選考の経過および結果を理事会に報告する。

(表彰)

5. 受賞者それぞれに、賞状および副賞として賞金を授与する。

日本選挙学会 2013 年度第 3 回理事会議事録

日 時： 2013 年 12 月 7 日（土） 14 時 00 分～15 時 00 分

場 所： 学習院大学 東 2 号館（法経研究棟）13 階 法学部大会議室

出席者：平野理事長，名取事務局長，浅野，池谷，今井，岩渕，河野，小西，竹下，竹中，建林，谷口，日野，森正，森裕城，山田（以上理事），荒井，岡田，境家（以上幹事）

議題

◎ 確認事項（前回議事録）

2013 年 9 月 7 日（土）開催の 2013 年度第 2 回理事会議事録が承認された。

◎ 報告事項

1. 2013 年度理事候補者選挙について

浅野和生選挙管理委員長より，2013 年度理事候補者選挙の結果について報告があった。今回の選挙で，はがきによる投票の督促が行われた旨の説明があった。また名取良太事務局長より，当選者の承諾状況についての報告があった。

2. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

森裕城 2014 年度大会企画委員長より，2014 年度研究会の企画趣旨および企画内容について報告があった。

■ 年報編集委員会

小西徳應年報編集委員長（第 29 巻担当）より，第 29 巻 2 号の編集状況について報告があった。

■ 年報編集委員会

谷口尚子年報編集委員長（第 30 巻担当）より，第 30 巻 1 号の編集状況について報告があった。また同一執筆者の論文同時掲載に関する今編集委員会の方針について説明があった。

■ 査読委員会

山田真裕査読委員長より，投稿論文の査読状況について報告があった。

■ 国際交流特別委員会

日野愛郎国際交流委員長より，第2回海外学会報告奨励費の審査状況について報告があった。

■ 電子情報化特別委員会

今井亮佑電子情報化委員長より，論文投稿システムの開発が完了した旨報告があった。同システムの運用は2014年5月からの予定で，今後マニュアルの整備を進める旨報告された。

3. 2014年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝2014年度大会委員長より，同大会の準備状況についての報告があった。また名取事務局長より，同研究会では「会員または事務局による紹介」を条件に，事前登録（方法は後日ウェブにて告知）を行うことで非会員の参加を認める旨が説明された。

4. 2015年度総会・研究会の開催について（熊本県）

今井2015年度大会委員長より，同大会の準備状況についての報告があった。同委員長の，準備のための熊本県への旅費を事務局経費として支出することを承認した。

5. 2013年度日本選挙学会賞について

池田謙一学会賞選考委員長より（欠席により名取事務局長代読），2013年度学会賞の選考過程についての説明があった。池谷和明学会賞選考副委員長より，2013年度日本選挙学会賞の選考結果について報告があった。

◎ 審議事項

6. 2014年度日本選挙学会賞について

名取事務局長より，「2014年度日本選挙学会賞要綱」案が示された。審議のうえ，原案を承認した。

7. その他

（1）入退会申込者について

新規入退会申込者はなかった。

（2）その他

名取事務局長より，事務委託契約解除に関する交渉の状況について報告があった。

以 上

日本選挙学会 2013 年度第 4 回理事会議事録

日時： 2014 年 3 月 22 日（土） 14 時 00 分～16 時 00 分

場所： 学習院大学 目白キャンパス東 2 号館（法経研究棟）8 階 法学部第 2 会議室

出席者：平野理事長，名取事務局長，浅野，阿部，池谷，今井，岩渕，河崎，川戸，河野，小西，品田，竹下，竹中，谷口，堤，日野，森裕城，森脇，山田（以上理事），荒井，岡田，境家（以上幹事）

議題

◎ 確認事項

2013 年 12 月 7 日（土）開催の 2013 年度第 3 回理事会議事録が承認された。

◎ 報告事項

1. 各委員会の活動状況について

■ 企画委員会

森裕城 2014 年度大会企画委員長より，2014 年度研究会企画の準備状況について報告があった。

名取良太事務局長より，外国人会員への周知の必要があるため，来年度よりウェブにおける研究会関係の告知には英語の指示を付ける方針が示された。

■ 年報編集委員会

小西徳應年報編集委員長（第 29 巻担当）より，第 29 巻 2 号の発行が完了した旨の報告があった。

谷口尚子年報編集委員長（第 30 巻担当）より，第 30 巻 1 号・2 号の内容予定，および刊行に向けての準備状況に関して説明があった。

山田真裕査読委員長より，『選挙研究』執筆要領が改訂された旨報告があった。

■ 査読委員会

山田査読委員長より，投稿論文の査読状況について報告があった。

■ 電子情報化特別委員会

今井亮佑電子情報化委員長より，論文投稿システムの開発が完了し，次期理事会のもとで運用を開始する旨報告があった。

荒井紀一郎委員より，同システムの利用マニュアルに関する補足説明があった。

■ 国際化特別委員会

日野愛郎国際交流委員長より、第2回海外学会報告奨励費の選考結果について、まだ第3回海外学会報告奨励費の審査状況について報告があった。

2. 2014年度総会・研究会の開催について（早稲田大学）

河野勝2014年度大会委員長より、同大会の準備状況についての報告があった。

3. 2015年度総会・研究会の開催について（熊本県）

今井2015年度大会委員長から、大会開催打ち合わせのために行われた、2月3日の熊本県出張に関する報告があった。

次回の熊本県出張に伴う経費も事務局経費として支出する旨、名取事務局長から説明された。

4. 学会事務委託の撤退について

名取事務局長より、学会事務委託の撤退手続きの進展状況について説明があった。

5. 2014年度予算（案）について

名取事務局長より2014年度予算案について説明があった。

6. ニュース・レターについて

名取事務局長よりニュース・レターの発行に関する報告があった。

7. 次期理事・監事候補について

名取事務局長より、次期理事・監事候補について、推薦理事選考会議の結果を含め報告があった。またすべての推薦理事候補者・監事候補者から承諾を得ている旨、報告された。

8. 事務局規程の改定について

名取事務局長より、事務局規程の改定に関する説明があった。

◎ 審議事項

9. 2014年度査読委員会委員長について

査読委員会規程第2条2項に基づき、次期査読委員会委員長として、和田淳一郎会員が平野浩理事長から推薦され、承認された。

続いて同第3項に基づき、次期査読委員会副委員長が選任された旨、名取事務局長より報告された。

10. 2014年度学会賞選考委員会委員長について

学会賞要綱3の1に基づき、2013年度学会賞選考委員長として池谷知明理事、次期副委員長が平野理事長から推薦され、承認された。

11. その他

(1) 入退会申込者について

2名の新規入会者を承認した。

(2) その他

3月11日に平野理事長・小西編集委員長・名取事務局長が桜田会を訪問し、年報刊行補助金が得られた旨、名取事務局長より報告があった。

(3) 意見交換

各委員会の活動費利用状況について意見交換がなされた。

以上

日本選挙学会 2014年度第1回理事会議事録

日時： 2014年5月18日（日） 12時05分～12時55分

場所： 早稲田大学・早稲田キャンパス 7号館1F・ファカルティラウンジ

出席者：岩淵理事長，名取事務局長，浅野，池谷，今井，奥，河崎，小西，品田，鈴木，建林，谷口，玉井，堤，中井，日野，待鳥，三船，森，森脇，山田，和田（以上理事），安野（監事），荒井，岡田，小林，宮脇（以上幹事）

議題

議事に際立ち、岩淵美克理事長から挨拶があった。また名取良太事務局長より挨拶があり、9月まで事務局長を務め、10月より岩崎正洋会員に事務局長に引き継ぐとの旨の説明があった。

◎ 確認事項

1. 幹事の委嘱について

荒井紀一郎会員、荒井祐介会員、岡田陽介会員、小林哲郎会員、宮脇健会員に事務局幹事の委嘱がなされ、承認された。

2. 事務局規程の改定について

名取事務局長より2016年6月末まで事務局を理事長の所属先、経理事務所を事務局長の所属先に設置する旨報告があり、改定が承認された。また、事務局長が10月から変わり、経理事務所が移動する際に理事会かE-mail理事会にて改定を諮る旨報告があった。

3. その他

(1) 入退会申請者について

1名の新規入会者を承認した。

◎ 報告事項

4. 第一回E-mail理事会について

名取事務局長より、5月に行ったE-mail理事会についての報告があった。その上で①E-mail理事会を効力あるものとみなすこと、②国際化委員会の常設化すること、③各種委員長を選任があり、承認されたことが報告された。国際化特別委員会は国際化委員会、各種委員長は総会で選任されたことが報告された。

5. 各種委員長について

■ 企画委員会

品田裕 2015年度大会企画委員長より挨拶があった。

浅野和生 2016年度大会企画委員長より挨拶があった。

■ 年報編集委員会

河崎健年報編集委員長（第31巻担当）より挨拶があった。

岩淵理事長より、前田幸男年報編集委員長（第32巻担当）は在外研修の為、帰国次第、

本職に就く旨報告があった。

■ 選挙管理委員会

三船毅選挙管理委員長より挨拶があった。

■ 査読委員会

和田淳一郎査読委員長より、Webによる論文投稿システムへの移行について協力のお願いと挨拶があった。

■ 国際化委員会

日野愛郎国際化委員長より挨拶があった。

6. 2015年度総会・研究会の開催について（崇城大学）

今井亮佑 2015年度大会委員長より、2015年5月16日、17日に行われる同大会の準備状況についての報告があった。

7. 2016年度総会・研究会の開催について

岩淵理事長より、2016年度大会については複数候補を打診中の旨が報告された。また、開催校の決定については平野前理事長、名取事務局長と相談の上進め、早期に決定する旨報告された。決定後は、E-mail理事会にて承認を得る予定であることが報告された。

8. 2014年度予算について

名取事務局長より、2014年度予算についての報告があった。2014年度の予算は前年度よりも300万円ほど規模が小さい理由として、①論文投稿システムの整備にかかる支払いが終了すること、②科研費の80万円が収入としてなくなったことが報告された。その上で、各委員会委員長の尽力により、工面することで単年度の赤字を20万円まで抑え込めた旨報告がされた。また、赤字に関する今後の対策として、会員を増やすことが必要である旨も報告された。

9. その他

(1) 入退会審査について

名取事務局長より、一昨年から入会退会審査を随時受け付ける仕組みをとっているため、入会申請については2週間をめぐりにメールでの審査を行い、1件でも異議があった場合は理事会での継続審査になることが報告された。

(2) その他

名取事務局長より、今後の理事会の開催予定について報告があった。
最後に本日の出席者の挨拶があった。

以上

日本選挙学会 2014年度第2回理事会議事録

日時： 2014年9月6日（日） 14時05分～15時30分

場所： 日本大学・日本大学法学部 4号館B1第4会議室

出席者：岩淵理事長，名取事務局長，岩崎次期事務局長，浅野，河崎，小西，鈴木，谷口，中井，日野，三船，森脇，吉野，和田（以上理事），荒井（祐）岡田，小林，宮脇（以上幹事）

議題

議事に際立ち，前回欠席の前田理事，岩崎次期事務局長，荒井祐介幹事から挨拶があった。

◎ 審議事項

1. 前回の議事録の確認

2013年第5回目議事録，2014年度総会議事録，2014年度第1回目議事録が提示され，次回の理事会でこの3つの議事録の承認を行う予定であるとの説明が名取事務局長よりあった。

2. 事務局規程の改定について

名取事務局長より，10月から事務局長が岩崎次期事務局長に変わることに伴い，事務局と経理事務所が日本大学・法学部内に移動する旨について説明がなされ，その旨が承認された。

3. その他

(1) 入退会申請者について

1名の新規入会者を承認した。

2名の会員が定年に伴い退会を申請してきたため承認した。

◎ 報告事項

4. 各種委員長について

■ 企画委員会

品田裕企画委員長より（欠席により名取事務局長がメールを代読），2015年度研究会に向けての活動報告の状況と企画案を12月までに確定させるとの報告があった。併せて企画委員のメンバーについて報告があった。

■ 年報編集委員会

谷口尚子年報編集委員長（第30巻担当）より，第30巻1号の刊行について報告があった。

また、同第2号の準備状況に関する報告があった。

河崎健年報編集委員長（第31巻担当）より、第31巻1号と同第2号の編集予定及び状況について報告があった。併せて編集委員のメンバーについて報告があった。

■ 査読委員会

和田淳一郎査読委員長より、今後の活動予定と査読委員のメンバーについて報告があった。また、査読委員会の開催予定月について、10月、12月、2月、5月に開催する旨が報告された。Webによる論文投稿システムが開始されてから現在までの状況について報告があった。

■ 国際化委員会

日野愛郎国際化委員長より、第1回海外学会報告奨励費の審査状況と受領者を決定した旨が報告された。

■ 学会賞選考委員会

池谷知明学会賞選考委員長より、（欠席により名取事務局長がメールを代読）2014年度学会賞の選考状況について報告があった。

5. 2015年度総会・研究会の開催について（崇城大学ホール）

今井亮佑 2015年度大会委員長より、（欠席により名取事務局長がメールを代読）2015年5月16日、17日に行われる同大会の準備状況についての報告があった。

6. 2016年度総会・研究会の開催について

名取事務局長より、前回の理事会では今回の理事会までに2016年の開催校を選定する予定であったが、現在引き続き選定中である旨が報告された。

7. 2014年度海外学会報告奨励費および2014年度国際共同研究奨励費について

報告済みの為割愛。

8. 電子ジャーナルについて

名取事務局長より、電子ジャーナル化の現状について報告があった。また、小林幹事より電子ジャーナルシステムの稼働に向けて今までの経緯説明と今後の方策について説明がされた。引き続き名取事務局長と小林幹事で進め方を検討してくとの報告があった。

◎ 懇談事項

①選挙学会員数について

②選挙学会財源状況について

③その他

会員数、学会財源状況などを踏まえて今後の学会運営について活発な意見交換が行われた。

以上

事務局だより

【新入会員】

昨年度のニュース・レター発行後に入会申請が承認された方は、以下の 19 名です（申請時の所属を記載しております）。

霜村 光寿	（日本大学）	大木 真美	（熊本県民テレビ）
久保 浩樹	（ライス大学）	藤井 潤	（日本テレビ）
加藤 言人	（早稲田大学）	上岡 敦	（日本大学）
吉田 龍太郎	（慶應義塾大学）	山田 尚武	（日本大学）
勝又 裕斗	（東京大学）	菊池 正史	（日本テレビ）
慎 公珠	（New York University）	國部 徹	
星 健太郎	（早稲田大学）	安野 修右	（日本大学）
三島 亮	（新潟日報社）	玉木 寛輝	（慶應義塾大学）
菊池 一真	（読売新聞社）	川代 秀弘	（法政大学）
里吉 弘治	（（公財）日本ユースリーダー協会）		

【退会会員】

昨年度のニュース・レター発行後、2名の会員が今年度末で退会予定です。

【現在の会員数】

上記の異動で、2014年12月末日現在の会員数は、509名（うち2名は今年度末で退会予定）となっております。

【会費の納入について】

会費は郵便振替によって納入して頂いております。口座番号と会費は以下の通りです。

口座番号

振込先（加入者名）	：	日本選挙学会
口座番号	：	00170-2-31731

年会費

正会員（大学院生以上）	：	8,000円
法人会員	：	50,000円
準会員（学部学生のみ）	：	2,000円

会費を納入された方には、該当する年度の『選挙研究』を送付いたします。過去の会費の滞納状況によっては、学会からの事務連絡、研究会での報告、年報への投

稿資格などが停止される場合もあります。理事選挙のある年の7月1日時点で当該年度の会費が未納の場合、理事選挙における選挙権・被選挙権が停止されます。会費は、滞納がある場合、滞納分から充当していきます。

2008年度から、滞納猶予期限3年を経過した会員の方には自動的に退会して頂くことになっております。2015年3月末日で3年間会費未納の場合、2014年度をもって自動退会扱いとなります。

なお、会費納入状況につきましては、学会HPの会員用ページ(My JAES)でご確認下さい(<https://www.jaesnet.org/myjaes/index.php>)。

【2015年度総会・研究会について】

2014年度の総会・研究会は、2015年5月16日(土)・17日(日)の2日間、今井亮佑大会運営委員長の下、熊本県熊本市・崇城大学ホールで開催される予定です。

宿泊については、開催校では準備いたしませんので、各自でご手配下さい。懇親会は、16日(土)に実施いたします。奮ってご参加下さい。

【学会ホームページについて】

2009年に学会HPの全面的なリニューアルを行うとともに、会員用ページ(My JAES)を導入しました。My JAESでは、会員情報(「所属」「役職」「メールアドレス」「生年」)・書類送付先(「郵便番号」「住所」「電話番号」「FAX番号」(電話・FAX番号の登録は任意))の変更、会費納入状況の確認を、会員ご自身の手で行って頂くことができますので、是非ご活用下さい。特に、書類送付先については、誤配・遅配などの原因となりますので、会員各自で随時更新して頂きますようお願い申し上げます。また、研究会での報告の応募、報告概要や論文のダウンロード・アップロードを学会HPで行うようになっております。今後、論文投稿なども学会HPで行うよう開発を進めて参ります。

※※※事務局からのお願い※※※

事務局からの各種ご案内も、学会HPやメールを活用して行うようになっておりますが、登録されているメールアドレスに誤りがある場合、配信不能となってしまいます。My JAESにて、ご自身のメールアドレスに誤りがないか、ご確認頂きますようお願い申し上げます。

【『選挙研究』の電子アーカイブ化・電子ジャーナル化について】

すでにご案内したとおり，日本選挙学会年報『選挙研究』第1号から第23号については，電子アーカイブ化が済み，独立行政法人・科学技術振興機構（JST）のJ-Stage（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaes1986/-char/ja/>）で公開されております（2012年度よりJ-Stageに登載移行となりました）。是非ご活用下さい。

既刊の第24巻から第29巻2号については，電子情報化特別委員会（今井亮佑委員長）において，電子ジャーナル化の準備（J-Stageへのアップロードに向けたファイルの変換作業）を行っております。

なお、『選挙研究』に掲載される論文等は，発行から2年が経過した後，原則として電子化されます。ご執筆頂く方々には，この旨ご了解頂きますよう，お願い申し上げます。

何かご不明な点がございましたら，事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局について】

日本選挙学会の事務局は，理事長の所属する日本大学法学部に所在しておりますが，事務局長・幹事は以下の6名が務めております。学会に関する各種お問い合わせは，事務局長までお願いいたします。

事務局長：岩崎 正洋（日本大学法学部）
〒101-8375 東京都千代田区三崎町2-3-1
日本大学法学部
Tel：03-5275-8501（代表）
E-mail：office@jaesnet.org

幹 事：荒井 紀一郎（首都大学東京）
荒井 祐介（京都大学）
岡田 陽介（慶應義塾大学）
小林 哲郎（国立情報学研究所）
宮脇 健（日本大学）

[目次へ](#)